

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 学校法人 川崎学園		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 701-0192 岡山県倉敷市松島 5 7 7	
本票作成	部署名：学校法人 川崎学園 大学事務局 施設部				
主たる業種	分類コード	81	業種名：学校教育		
事業の概要	川崎医科大学、川崎医科大学附属病院、川崎医科大学附属川崎病院、川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学、川崎医科大学附属高等学校、川崎医科大学総合医療センターを有する学校法人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	川崎学園 (附属川崎病院、附属高校、総合医療センターを除く)		岡山県倉敷市松島 5 7 7	
	②	川崎医科大学総合医療センター		岡山県岡山市北区中山下 2 - 6 - 1	
	③	川崎医科大学附属川崎病院		岡山県岡山市北区中山下 2 - 1 - 8 0	
	④	川崎医科大学附属高等学校		岡山県倉敷市生坂 1 6 6 1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 28 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	39,759 t CO ₂			38,566 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 28 年度) の排出量					
	①	川崎学園 (附属川崎病院、附属高校、総合医療センターを除く)		33,848 t CO ₂					
	②	川崎医科大学総合医療センター		2,808 t CO ₂					
	③	川崎医科大学附属川崎病院		2,580 t CO ₂					
	④	川崎医科大学附属高等学校		526 t CO ₂					
				t CO ₂					
			t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	延床面積 377.5 千㎡		基準年度	目標年度
			105.3 t CO ₂ / (千㎡)	102.2 t CO ₂ / (千㎡)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 28 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

本学園では、温室効果ガス排出の元となるエネルギー使用量の削減目標を年1%としており、これを達成することにより温室効果ガス排出量を削減する。原単位基準を採用した理由は、病院等は状況により稼働する病床面積が変動するので、これを補正するためである。2016年12月に川崎医科大学総合医療センターが開院、28年度半ばまでのことで今後のエネルギー使用量の予測が見通せないこともあり、計画期間を3箇年に設定した。

【目標削減率達成のための推進体制】

学園内に「地球温暖化対策推進委員会」を設置している。大学事務局を委員会事務局とし、各施設の代表者を委員として選任したものである。委員会は年2回開催され、年度活動計画及び実施結果を報告している。また、学園の施設・設備の維持管理を担当している施設課においては、各施設の担当者による定例会を毎月開催して、省エネ活動等の情報交換、効率的な設備稼働を検討・実施している

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
川崎学園全体	1 照明器具：誘導灯器具・蛍光灯をLEDへ更新、ほか高効率管・球・LEDへ交換 2 空調設備：Vベルトを省エネベルトへ更新、フィルターの定期清掃・交換、パッケージエアコンの更新、ビル用マルチエアコンに更新 3 給湯設備：エコキュート、ヒートポンプ給湯器導入 4 昇降機：エレベータを高効率インバータタイプへ更新(本館棟・博物館)、附属高校エレベータ2台撤去 5 設備機器：高効率機器の導入・更新(高効率変圧器へ更新・女子寮2台) 6 熱源機器：本館棟ターボ冷凍機(2台)更新、蒸気配管放熱ロス対策の実施、ボイラーの省エネ改造(1台)、貫流式ボイラーの水管内スケール除去、冷温水2次ポンプ吐出圧力変更による損失低減 7 その他：自動販売機を省エネ型へ更新、複合機を導入しOA機器を集約する

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
川崎学園全体	<ul style="list-style-type: none"> ・天井蛍光灯(直管40形)の安定器不良は順次LEDに更新する ・自動販売機を省エネ型へ順次更新する ・給気、排気ファンの運転時間の短縮と温度センサーを取付け運転制御する ・西館の天井蛍光灯(直管40形)をLEDに更新 ・照明器具(避難誘導灯含)の高効率管・球・LED機器への随時更新 ・エレベータの高効率インバータリニューアル(医科大学男子寮改修に伴うもの) ・受変電設備における低損失変圧器への更新(6台) ・空調設備の更新(空冷ヒートポンプエアコンへ) ・照明のLED化(全館) ・エレベータ台数を削減(2台→1台へ)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	太陽光発電設備設置済み(H25年度・川崎医療短期大学) 6kw
その他	無	

【その他特記事項】

- その他の取組
- (1) 空調設定温度の厳守、照明点灯・空調運転時間の短縮とスケジュール制御時間の見直し
 - (2) 各施設での省エネパトロールの実施、学生も参加させ、女性目線でのきめ細かな指摘と改善
 - (3) 学園広報誌及び学園HPへの啓蒙記事・省エネ実施事例の掲載により省エネ意識を高める
 - (4) 新入生への省エネ教育の実施
 - (5) 大学・寮の長期休暇中、エレベータの間引き運転の実施及び自動販売機の休止
 - (6) パソコン・OA機器の省エネモード設定と退社時電源OFF
 - (7) 照明ゾーニング・人感センサー等の取り付け工事による不要点灯の削減
 - (8) アースキーパーメンバー及びライトダウンキャンペーンに参加